





《法学研究科 教員よりメッセージ》


法学研究科授業科目担当より受験生のみなさんへ（順次更新）


	担当者	法学部教授：大西 楠テア（おおにし なみてあ）	
	科目	修士課程	西洋法制史特論Ⅰ・Ⅱ／演習
		博士後期課程	西洋法制史研究／演習（R05 より）
<p>ドイツ法を中心に比較法・比較憲法史を研究しています。</p> <p>比較法は、違う地域・違う時代には異なる「法」が存在すること、現在の日本法が「当たり前」ではないということに気づかせてくれます。自分の常識を疑い、現在の日本法とは異なる法制度が「あり得るかもしれない」という視点を持つことは、皆さんの視野を広げてくれるものと確信しています。</p>			


	担当者	法学部准教授：加藤 雄三（かとう ゆうぞう）	
	科目	修士課程	中国法制史特論Ⅰ・Ⅱ／演習
		博士後期課程	
<p>主に明清時代以降中華民国期までの漢語史料、特に公文書等の一次史料を駆使して「法」にまつわる事象を考察していきます。対象によっては、欧文や日文の多言語一次史料も扱うことになります。そうした史料と格闘してみたいという方をお待ちしています。</p>			


	担当者	法学部准教授：高橋 脩一（たかはし しゅういち）	
	科目	修士課程	英米法特論Ⅰ・Ⅱ／演習
		博士後期課程	
<p>現在、英米法は世界に大きな影響を与えるとともに、私たちの法制度を見るときに1つの指標を提供してくれます。自ら臆することなく実際の英米の判例に挑戦して、こうした点に直に触れていただければと思っています。</p>			


	担当者	法学部教授：榎 透（えのき とおる）	
	科目	修士課程	憲法特論Ⅰ・Ⅱ／演習
		博士後期課程	憲法特殊研究／演習
<p>公務員になって社会で活躍したい人や憲法の研究を志す人など、憲法に関する専門的知識を獲得したい人を応援します。授業では、修士課程・博士後期課程ともにそれぞれの課程に応じた憲法学の体系的理解を目指し、体系書・判例・学術論文等と格闘します。</p>			


	担当者	法学部教授：内藤 光博（ないとう みつひろ）	
	科目	修士課程	憲法特論Ⅰ・Ⅱ／演習
		博士後期課程	憲法特殊研究／演習
<p>私の授業では、表現の自由や生存権などの基本的人権および憲法訴訟に関する諸問題を研究します。</p> <p>こうした研究を通して、自由で平等な市民社会の実現を目指したいと思います。</p> <p>勉学意欲に燃える皆さん、ともに研究を楽しみましょう！</p>			


	担当者	文学部教授：山田 健太（やまだ けんた）	
	科目	修士課程	憲法特論Ⅰ・Ⅱ／演習
		博士後期課程	
<p>民主主義社会を支えているのは法社会制度としての言論の自由と、その護り手であり実践でもあるジャーナリズム活動です。この2つを研究対象として、皆さんとともに時に取材・報道の現場に出かけ、それらを生かした理論研究・学修を進めていきます。ジャーナリズム法制をより深く学びたい人ともに、本格的にジャーナリストをめざす人にとっても、理論と実務の双方に精通することはとても大切ですし、日ごろの仕事の基盤を作ることに必ず役立ちます。</p>			


	担当者	法学部教授：谷口 智紀（たにぐち ともりのり）	
	科目	修士課程	税法特論Ⅰ・Ⅱ／演習
		博士後期課程	税法特殊研究／演習
<p>将来、税理士を目指す学生に対しては、税務調査などの租税法実務の遂行に不可欠なリーガルマインド（法的なものの考え方）の練成を行っています。また、税理士試験の税法科目一部免除に対応するため、学生が希望するテーマに関する修士論文の指導も行っています。</p> <p>研究者を目指す学生に対しては、独創的な博士論文を完成させるための指導を行っています。</p>			


	担当者	法学部教授：増田 英敏（ますだ ひでとし）	
	科目	修士課程	税法特論Ⅰ・Ⅱ／演習
		博士後期課程	税法特殊研究／演習
<p>本講座は、税法に関する修士論文を完成させ、税理士試験の一部科目免除を目的とする学生を歓迎しております。また、税法の研究者の育成にも力を入れております。リーガルマインドを具備した一流の税法の実務家と研究者の養成は、本講座の目的であり、専修大学の目指す社会知性の開発に連動しております。</p>			


	担当者	法学部教授：芦野 訓和（あしの のりかず）	
	科目	修士課程	民法特論Ⅰ・Ⅱ／演習
		博士後期課程	民法特殊研究／演習
<p>民法財産法について、日本法を主な研究対象として、ドイツ・EU法とも比較しながら研究しています。中国の学会において日本語で報告したこともあります。他大学での教え子には、研究者希望以外に公務員・企業法務部に進んだ卒業生、中国からの留学生などがいます。多角的な視点で研究しましょう！</p>			


	担当者	法学部 氏名：高橋寿一	
	科目	修士課程	民法特論Ⅰ・Ⅱ／演習
		博士後期課程	民法特殊研究／演習
<p>民法・不動産法・エネルギー法を中心とした日本とドイツの比較法研究をしています。大学院は、狭い意味での「勉強」ではなく「学問」ないし「研究」を行う場です。学部の授業よりも視野を大きく広げましょう。今後の社会のあり方を展望しながら、自分の問題関心を深めて行けるような場を提供したいと思っています。</p>			


	担当者	法学部教授：良永 和隆（よしなが かずたか）	
	科目	修士課程	民法特論Ⅰ・Ⅱ／民法特論演習
		博士後期課程	民法特殊研究／民法特殊研究演習
<p>2004年度から2019年度まで法科大学院教授でしたが、2020年度から法学部に移籍しました。民法の全分野に著作がありますが、大学院（修士課程）では、物権法と契約法をテーマとした授業をしています。いろいろな方との出会いを楽しみにしています。</p>			


	担当者	法科大学院教授：松岡 啓祐（まつおか けいすけ）	
	科目	修士課程	
		博士後期課程	商法特殊研究／演習
<p>この科目では、商法分野のうち、主に金融商品取引法や会社法等について、研究をします。アメリカ法やイギリス法等の外国法の状況も加味しながら、資本市場やコーポレート・ガバナンスなどの法制度上のルールの内容を深く学習していきましょう。受講生の積極的な参加をお待ちしております。</p>			


	担当者	法学部教授：岡田 好史（おかだ よしふみ）	
	科目	修士課程	刑法特論Ⅰ・Ⅱ／演習
		博士後期課程	刑法特殊研究／演習
<p>刑法学は、犯罪の成立要件とそれに対する刑罰適用を研究することを目的としています。学説が鋭く対立し、議論が難解であるとされていますが、隣接領域も含めて積極的に学ぶ意欲を持った皆さんを歓迎します。</p>			


	担当者	法学部教授：渡邊 一弘（わたなべ かずひろ）	
	科目	修士課程	刑事学特論Ⅰ・Ⅱ／演習
		博士後期課程	刑事学特殊研究／演習
<p>合理的な犯罪対策制度を構築するためには、犯罪発生状況や各種の犯罪対策の運用や機能についての分析を行い、それらの成果を法政策論に反映させていく必要があります。規範の学である法律学と実証科学との橋渡しの役割を担う学問が刑事学（刑事政策）であり、非常にやりがいがある学問です。</p>			


	担当者	法学部教授：長谷川 聡（はせがわ さとし）	
	科目	修士課程	労働法特論Ⅰ・Ⅱ／演習
		博士後期課程	労働法特殊研究／労働法特殊研究演習
<p>疑問を感じた、深く知りたいと思ったその時が、学びを始める一番のタイミングです。働くことをめぐって現代社会が有する問題の一面を、自身の問題意識に基づいて切り取って、研究してみませんか？</p>			


	担当者	法学部教授：大槻 文俊（おおつき ふみとし）	
	科目	修士課程	経済法特論Ⅰ・Ⅱ／演習
		博士後期課程	経済法特殊研究／演習
<p>独占禁止法の中でも、主として、垂直的制限と呼ばれる違反行為について研究しています。この行為には、再販売価格維持行為などが含まれます。独占禁止法の研究では、日本法の研究においても、米国の反トラスト法や EU 競争法に関する知識が必要となります。</p>			


	担当者	法学部教授：森川 幸一（もりかわ こういち）	
	科目	修士課程	国際法特論Ⅰ・Ⅱ／演習（演習は2023年度休講）
		博士後期課程	国際法特殊研究／演習（演習は2023年度休講）
<p>国際法、特に国際安全保障法、国際人道法などを専門に研究しています。今般のロシアのウクライナ侵攻は、この分野の国際法がいかにも実効的に機能し得るかという問題を投げかけています。こうした問題に興味があり一緒に研究したい人の受験を広く歓迎いたします。</p>			

	担当者	法学部教授：深澤 民司（ふかさわ たみじ）	
	科目	修士課程	政治学特論Ⅰ・Ⅱ／演習
		博士後期課程	政治学特殊研究／演習
<p>学ぶということは、それ自体が人間にとって喜びです。人生のなかで、学ぶことに集中して楽しむ時間があっても、決して無駄にはならないでしょう。むしろ次なるステップに向けて大きな糧になると思います。大学院はそうした場としてとても有意義なところです。</p>			

	担当者	法学部教授：鈴木 潔（すずき きよし）	
	科目	修士課程	行政学特論Ⅰ・Ⅱ／演習
		博士後期課程	行政学特殊研究／演習
<p>行政学は、国民の意思を行政活動に一層反映するため、一層効率的な行政活動を実現するため、そして問題解決に一層有効な政策を実行するため、国や自治体の行政を考察する学問です。一緒に学んでいきましょう。</p>			

	担当者	法学部教授：菅原 光（すがわら ひかる）	
	科目	修士課程	日本政治思想史特論Ⅰ・Ⅱ／演習
		博士後期課程	日本政治思想史特殊研究／演習
<p>江戸から明治にかけての政治思想史を研究対象としていますが、それ以外の時期や対象であっても、可能な限り、私自身も学びながら共に研究していきたいと思っています。日本社会の歴史や思想を通じ、現在の日本のあり様をも考えていきます。日本政治思想史分野に関心のある方、歓迎します。相談があれば、大学院事務課を通じ、遠慮なく等位会わせてください。</p>			

	担当者	法学部准教授：黒田 友哉（くろだ ともや）	
	科目	修士課程	国際政治学特論Ⅰ・Ⅱ／演習
		博士後期課程	
<p>今日の世界は、気候変動、中印の台頭、コロナ禍、ウクライナ戦争など、大きな地殻変動に見舞われています。そのような国際政治の変化と持続的な構造的に分析し、実社会に還元していくための場として大学院での学びを活用して下さい。</p>			

	担当者	文学部教授：野口 武悟（のぐち たけのり）	
	科目	修士課程	法律学応用特論／政治学応用特論
		博士後期課程	
<p>情報のアクセシビリティを中心に研究をしています。現代社会はさまざまな情報にあふれていますが、果たしてすべての人々に自由な情報アクセスが保障されているでしょうか。ぜひ法学研究科で一緒に学び、考えていきましょう。</p>			